

令和 2 年度 第 1 回めぐみちゃん農産物等販売会（マルシェ）について（報告）

標記の件について、地産地消を目的としためぐみちゃんメニュー事業の一環として、実施したので以下のとおり報告する。

1 実施日時

令和 2 年 10 月 30 日（金） 15 時～17 時

2 実施場所

西武新宿線田無駅北口ペデストリアンデッキ

3 実施内容

(1) 出品事業者：事業者（12 農業者、7 商工業者）

(2) 市内産の農産物及びそれらを使用した加工品の販売

①農産物：キャベツ、ブロッコリー、ホウレン草、小松菜、サツマイモ、キウイフルーツなど（数量 534 点）

②加工品：クッキー、ジャム、総菜パンなど（数量 120 点）

※加工品については「めぐみちゃんお得パック」としてセット販売。

(3) 西東京市農産物キャラクターめぐみちゃんの着ぐるみの出動

⇒グリーティングや写真撮影、事業 PR チラシの配布などの実施。

(4) アンケートの実施

実施方法：購入する前に、職員が聞き取り

アンケートの回答者にめぐみちゃんエコバッグをプレゼント

回答者数：112 名

集計結果：別途回覧。また、集計結果を検証し、今後の事業運営に活用していく。

(5) 情報発信について

- ・めぐみちゃんパネルの設置により、地産地消や事業 PR 等を発信
- ・エコバッグに入れてチラシを配布（マルシェ、事業 PR チラシ）
- ・アスタビジョンによる農業 PR 映像の放送
- ・パネルによる参加農業者の PR

4 購入者数

124 名

5 来場者数

約 200 名

6 売上金額

合計 111,550 円（農産物：81,550 円、加工品：30,000 円）

7 新型コロナウイルス感染症対策について

- (1) ソーシャルディスタンスを確保するため、地面に目印をつけた
- (2) 販売レーンに入る来場者の数の制限
- (3) 販売者側のフェイスシールド、マスク、手袋の着用
- (4) 職員のフェイスシールド、マスクの着用
- (5) 買い物カゴの消毒
- (6) 手指の消毒用のアルコールを設置（来場者、スタッフの手指消毒の徹底）

令和2年度 第2回めぐみちゃん農産物等販売会（マルシェ）について（報告）

標記の件について、地産地消を目的としためぐみちゃんメニュー事業の一環として、実施したので以下のとおり報告する。

1 実施日時

令和2年11月27日（金） 15時～17時

2 実施場所

西武池袋線保谷駅南口ペデストリアンデッキ

3 実施内容

(1) 出品事業者：事業者（14 農業者、6 商工業者）

(2) 市内産の農産物及びそれらを使用した加工品の販売

①農産物：キャベツ、ブロッコリー、ホウレン草、小松菜、キウイフルーツ、みかん
など（数量474点）

②加工品：クッキー、ジャム、総菜パンなど（数量96点）

※加工品については「めぐみちゃんお得パック」としてセット販売。

(3) 西東京市農産物キャラクターめぐみちゃんの着ぐるみの出動

⇒グリーンティンングや写真撮影などの実施。

(4) 情報発信について

- ・めぐみちゃんパネルの設置により、地産地消や事業PR等を発信
- ・エコバッグに入れてチラシを配布（マルシェ、事業PRチラシ、事業紹介チラシ、直売所マップ、参加店マップ）
- ・パネルによる参加農業者、参加商工業者のPR
- ・事業紹介と直売所マップ、参加店マップの掲示

4 購入者数

116名

5 来場者数

約150名

6 売上金額

合計 94,930 円（農産物：72,000 円、加工品：22,930 円）

7 新型コロナウイルス感染症対策について

(1) ソーシャルディスタンスを確保するため、地面に目印をつけた

(2) 販売レーンに入る来場者の数の制限

- (3) 販売者側のフェイスシールド、マスク、手袋の着用
- (4) 職員のフェイスシールド、マスクの着用
- (5) 買い物カゴの消毒
- (6) 手指の消毒用のアルコールを設置（来場者、スタッフの手指消毒の徹底）

【緑のアカデミー】の実施について（報告）

市内農業の特徴である植木を活かし、市民が「緑」にふれあう機会を提供し、都市農業への理解を深め、市の農業が野菜・果樹・植木・花の4本の柱であることを知ってもらうとともに、花を使った体験をしてもらう緑のアカデミーを実施したので、下記のとおり報告する。

記

1 実施日時

- (1) 令和3年1月21日（木）午前10時40分から午後12時00分
- (2) 令和3年1月29日（金）午前9時から午前10時30分

2 実施場所

西東京いきいの森公園（緑町三丁目2番）

3 実施協力

- (1) 田無緑化組合（組合長：濱野 博）
⇒1月21日：11名、1月29日：7名
- (2) JA 東京みらい田無支店 指導経済課（1名）
- (3) スポーツ振興課（2名）
- (4) みどり公園課（1名）
- (5) 教育指導課

4 参加者

- (1) 谷戸第二小学校 3年生 75名（2クラス）、先生 2名
- (2) 谷戸小学校 2年生 50名（2クラス）、先生 2名

5 実施内容

(1) 「匠の技」デモンストレーション【木の枝の剪定の実演】

「匠の技」として、田無緑化組合員による公園内のボール広場にある檜の木の「枝の剪定」の実演披露を行った。剪定する理由や切り方などについて解説を交えながら実施した。

(2) グリーンアドベンチャー

緑化組合の方に「けやき（市の木）」や「ハンカチの木」、「十月桜」、「市の花」の説明していただき、その後グループ（4名～5名）に分かれて公園内で3種の木を探し、それぞれの木に設置した一文字のキーワードを探し、三文字の言葉を完成させた。

(3) チューリップの植え付け

スポーツ振興課と連携し、チューリップの球根を公園内に植えた。（東京2020オリンピック

ック・パラリンピック競技大会に向けたホストタウン相手国であるオランダとの交流が直接できない状況下で、市民の皆様にオランダを身近に感じていただけるよう、オランダ国花の「チューリップ」を、市内で咲かせ、大会への機運醸成と共生社会の実現に向け取り組み、ホストタウンであることを周知する、「チューリップを咲かせよう！」についてスポーツ振興課職員より説明をいただいた。

6 来年度検討すべき事項

- ・今年度については、新型コロナウイルス感染症の影響で、本来実施を予定していた小学校での開催について中止し、代替として実施した内容となる。来年度についても、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、場所や人数など内容を見直す必要がある。
- ・時期・回数についても、緑化組合の参加が難しいことがあるので調整が必要。

7 その他

- (1) チューリップ球根を植えた場所に柵及び不織布を市で準備
- (2) チューリップを植えた箇所に事業案内看板を設置（スポーツ振興課）
- (3) 生育観察会の実施（3月ごろを予定）
- (4) 水やりについては、いこいの森公園指定管理者に依頼
- (5) 事前に別紙資料を配布し、学校で事前学習を行っていただいた
- (6) 参加者へアンケートを実施し、集計する（2月中を予定）
- (7) 新型コロナウイルス感染症対策：
 - ①「匠の技」のデモンストレーション
 - ・密にならないようソーシャルディスタンスを保つ
 - ・説明者はマスク、フェイスシールド着用。大声を出さないためにマイク使用
 - ・説明については簡潔に、短く行う
 - ②グリーンアドベンチャー
 - ・密にならないように小集団とする
 - ・説明者はマスク、フェイスシールド着用。大声を出さないためにマイク使用
 - ・説明については簡潔に、短く行う
 - ③チューリップの植え付け
 - ・植える際に密にならないよう、ソーシャルディスタンスを保つ（チューリップ球根を植える場所を1組・2組にわけず、交互に植えることで植える際の間隔をとる）
 - ・説明が行き渡るよう、等間隔に係員を配置
 - ・説明者はマスク、フェイスシールド着用。大声を出さないためにマイク使用
 - ・説明については簡潔に、短く行う
 - ④全体的な対策
 - ・説明者のフェイスシールド、マスクの着用の徹底
 - ・職員等スタッフのフェイスシールド、マスクの着用の徹底
 - ・「匠の技」デモンストレーション以外はクラスごとの対応

- ・チューリップ球根を植える際、児童は各自軍手を用意
- ・チューリップ球根を植える際のシャベルは全児童分を産業振興課で用意
- ・全体的に簡潔に短く行う
- ・なるべく会話は控える